

未来へつなぐ絆

50 KOTOBUKIDAI  
TH  
ANNIVERSARY

寿台町会連合会創立50周年記念誌



寿台町会連合会創立50周年記念誌

発行 寿台町会連合会・寿台町会連合会創立50周年実行委員会  
編集 寿台町会連合会創立50周年実行委員会  
発行日 令和5年9月25日  
配布 寿台全戸



寿台町会連合会

寿台町会連合会創立50周年実行委員会



## 寿台町会連合会創立 50周年に寄せて

松本市長

臥雲義尚

寿台地区町会連合会発足50周年を、心よりお祝い申し上げます。

昭和から平成、令和へ、時代が大きく移り変わった半世紀、地区の発展を支えていただいた皆様のご尽力に、心から敬意を表します。

寿台地区では、昭和40年代の大規模な住宅団地の開発に伴う人口の増加により、昭和49年に町会連合会が発足し、発足当初から、住民自治の意識が高く、住民同士の一体感も強く、地域の事業が活発に行われてきました。中でも、地元の人たちと明善中学校の生徒が共に地区の行事を運営する活動は、持続可能な地域を展望する取組みとなっています。

松本市は、老朽化が進み更新期を迎えている寿団地について、集約建替えと余剰地活用により、新たな居住者を呼び込む住宅供給の可能性を検討しています。今後、住宅団地の再整備構想を足掛かりとして、寿台地区全体の土地利用や交通の拠点化といった課題に、地域の皆さんと共に取り組んでいきます。

50周年の節目に、世代を超えて一体感をさらに深め、豊かさや幸せを実感できる地域をつくり上げていくために、ご協力をお願い申し上げます。



## 創立五十年を迎え

寿台町会連合会 会長

内山博行

今年で寿台町会連合会が発足して五十年を迎えたことに心からお喜びを申し上げます。

寿台地区は、昭和四十三年から長野県一の大型住宅団地として、個別分譲、県営・市営住宅が造成されました。

昭和四十八年に、寿団地の住民表示が寿台としての新しい住民表示に変わりました。

寿台町会連合会は、翌年に寿町会連合会から分離独立し松本市の二十六番目の一人前の地区組織として誕生しました。新しく移ってきた方々がお互いの顔を知り、それぞれの交流によって地区内の連帯感を育んできました。

五十年を迎え、今日の寿台が出来上がった事に対し、歴代役員の皆様方又、地域住民のご協力ご努力に感謝申し上げます。発足当時は、六千人を抱えていた人口が現在は三千人を切っていますが地域の縮小は残念であります。

地域の魅力が減少したとは思いませんが、少子高齢化と居住地の老朽化によるものが大きく影響しているのでしょうか。今後十年二十年と歴史を刻んでも松本のベッドタウンとして、今以上に安全で住みやすい寿台を作り上げ、この地に住んで良かったと思える人が増える様念じます。



## 未来へ向かって

寿台町会連合50周年行事  
実行委員長

岸田浩和

昭和49年4月、私が小学校に入学した年、寿台町会連合会が発足されました。今ではシワも増え白髪頭になった自分の姿を見ると、時の流れの早さを感じさせられます。

50年間の長きに渡り今も絶えることなく行われている寿台四大行事、幼き日に刻まれた夏祭りや大運動会の思い出は、一生の思い出として私の心に残ることでしょう。

団地という土地柄の中、『十人十色』多くの住民と意思疎通を育むことは、大変な苦勞があったと思います…それは町会連合会に携わる一員となった今、改めて痛感致します。

50周年記念行事実行委員会を立ち上げてからの2年間は光陰矢の如し！実行委員の仲間と共に走り続けて参りました。

寿台の一つの大きな節目として、今まで町会連合会に携わった方々、またそれを支えて下さった住民の皆様様に真心を込めて、記念式典並びに記念祭を挙げる運びとなりました。

2023年は、年輩の皆さん！シワの分だけ楽しんで！

子どもたちよ！ 将来大人になって、この場所を離れなくてはならないことがあっても、ここは皆さんの故郷です。

心に残る思い出づくりをして下さい…そんな一年に出来たら本望です。50周年はあく迄も通過点にすぎません。『優しく思いやり明るく楽しい町 寿台』を永遠のテーマに、これから60年、70年…100年先の寿台の未来へ向かって、寿台町会連合会の更なる活躍を祈念致します。

江戸中期以降、農村の自給自足経済が進展し、副業として養蚕が発展した。扇状地上に位置する寿台は、雑木林松林が次第に開墾され、明治時代には大半が桑畑、一部が畑地になり、団地造成までに至っている。

昭和41年、住宅開発を対象に、松本南部開発促進対策本部が設置され、県用地開発事業団が、県内に造成した団地のうち最大のものであった。住宅建設は昭和43年に市営住宅1丁目からはじまり、昭和44年に一般分譲住宅107戸、現在の6丁目、勤労者分譲住宅50戸、現在の4丁目、県営住宅222戸、現在の5丁目、市営住宅164戸、現在の1・3丁目ができる。一般分譲住宅は、その後、45年に30戸、46年に61戸、47年以降に23戸、計226区画分譲され、その後昭和47年にかけて造成をした。

分譲住宅用地は674戸、県営住宅444戸、市営住宅841戸、合計1,959戸となり、他にも緑地・道路・運動場(テニスコート)・広場(遊園地)・集会所・幼稚園用地とされたところ(駐車場、広場)・病院・汚水処理場等にあてられた。

住宅地造成にあたっては、1・3・8丁目が市営、2・4・6・7・9丁目が分譲、5丁目が県営と混在させたところも一つの特色であった。

1969  
(昭和44年)

住宅の建築が始まる。造成前はほとんど桑畑でそれ以外は雑木林であった。新産業都市のペットタウンとして計画された県下最大のマンモス団地で、総面積45.7ha、うち1/3は内田地籍であった。



1970  
(昭和45年)

1丁目、2丁目(現3、4丁目)の建築工事がほぼ完了。

1971  
(昭和46年)

8丁目を除く地籍の建築工事がほぼ完了。

1973  
(昭和48年)

住宅建築工事がほぼ完了し、大住宅団地「寿団地」が完成。公営住宅町会(1、3、5、8丁目)にそれぞれ集会場を設置。11月・新住居表示の実施(「寿団地」から「寿台」へ)

1974  
(昭和49年)

4月・寿台地区として寿地区から分離独立して、「寿台町会連合会」が発足。(ただし、公民館活動は寿公民館の傘下にあった)  
4月・明善小学校開校  
8月・第1回夏祭の開催  
10月・第1回寿台住民大運動会の開催

1976  
(昭和51年)

9月・寿台公民館の開設  
既存の団地会館(現ふれあいセンター)を市に寄付し、東側に増築し開設。  
住民相互の友好親睦と連帯の輪を広げ、助け合いながら共に暮らせる町づくりの第一歩を踏み出した。  
・公民館新設PR号および館報「寿台版」第1号発行

1977  
(昭和52年)

11月・第1回文化祭開催

1979  
(昭和54年)

4月・明善中学校開校

1980  
(昭和55年)

1月寿台児童館開設



1981  
(昭和56年)

9月・寿台勤労者体育センター(現寿台体育館)開館完成と同時に体育センター事務室に公民館事務室が移転。



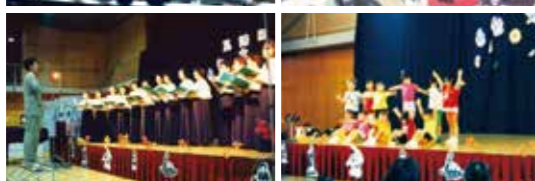
1991  
(平成3年)

9月・新公民館(現寿台公民館)開館(図書室併設の複合施設)敷地面積3,000m<sup>2</sup>二階建、延床面積691.57m<sup>2</sup>



1995  
(平成7年)

4月・福祉ひろば開設  
旧公民館があった「ふれあいセンター」を改修して、「福祉ひろば」と「ふれあいセンター」の複合施設として開設。



2002  
(平成14年)

福祉ひろばの建て替え計画が市側からあり、4丁目、東町会、9丁目の公民館併設も含めて検討され、見送られた。

2004  
(平成16年)

寿台町会連合会30周年を記念して寿台体育協会および寿台公民館が記念誌を刊行。  
5月・寿台地区まちづくり交付金事業による都市再整備の実施。(平成20年度までの5年間)3丁目市住の建替え、福祉ひろばの新築移転、西公園の整備等による住環境の創設および地域の活性化を図ることが目的の事業。

2005  
(平成17年)

寿台商店街の街路灯を改修。

2006  
(平成18年)

3月・消防屯所北にミニバスケットコート完成。

2007  
(平成19年)

1月・「市政まちかどトーク」の開催。市政について、市長ほか市側と住民との意見交換。  
4月・新「福祉ひろば」開設(体育館北側)  
旧「福祉ひろば・ふれあいセンター」は、「ふれあいセンター」に名称変更。  
・寿台児童館の管理を外部委託。(ワーカーズ・コープ)  
8月・松本市政100周年記念地区イベント「盆踊り大会」を実施  
10月・第1回寿台防災訓練の実施

2008  
(平成20年)

・寿台地区まちづくり活動  
講演会、先進地視察、災害時の要援護者カードおよびマップの作成、防災訓練等  
・寿台町会連合会発足35周年を迎える。

2010  
(平成22年)

・寿台みまもり隊発足。

2011  
(平成23年)

・寿台地区市政まちかどトークに菅谷市長(当時)が出席。

2014  
(平成26年)

・寿台町会連合会40周年を迎える。

2015  
(平成27年)

・松本市総合防災訓練が明善小・中を主会場として開催。

2018  
(平成30年)

・寿台体育館の耐震工事が完了。

2019  
(令和元年)

・寿台公民館に夏休みに利用できるクールシェア「学習スペース」を設置。  
・寿台住民大運動会が「寿台秋の体育祭」に改称。

2020  
(令和2年)

・新型コロナウイルス流行のため、夏祭り、各種スポーツ行事、公民館旅行など行事が相次いで中止になる。

2021  
(令和3年)

・寿台町会の若手による壮青会が発足。

2022  
(令和4年)

・寿台スポーツ協会(旧寿台体育協会)が発足50周年を迎える。

2023  
(令和5年)

・寿台町会連合会発足50周年を迎える。



## 各町会からの思い出スナップ



寿台在住の子どもたちを中心に「寿台への想い」をいただきました！

私は、小6までダンスを習っていました。練習の成果を寿台文化祭で発表し、いつもお世話になっている地域の皆さんに見て頂けて嬉しかったです。私が大人になっても、地域の子供たちを応援し続ける寿台にしたいです。

みなさんと一緒にこの寿台50周年記念を迎えられることを大変うれしく思っています。この地域では少子高齢化という大きな問題がありますがそれをみなさんと解決していければよいと思っています。

赤ちゃんからおじいちゃん、おばあちゃんまで元気で生活できる寿台でありますように。

いつまでも皆が住みやすく、笑顔あふれる寿台が続きますように。

寿台は年々住む人が少なくなってきていて、子供の人数も減ってきています。私は寿台に住んでいてとても住みやすい所だと思っています。地域の方も温かく優しい人もたくさんいます。これからもっとたくさんの人に寿台の良さを知らしてもらい、住む人が増えるように色々なイベント等をやって地域の発展を願っています。

寿台の50周年という大きな節目に立ち合えたことを嬉しく思います。この先、60周年、70周年も穏やかに迎えられるように地域に貢献していきたいです。

50周年を迎えて、地域のいろいろな人たちのおかげで、迎えられてすごいと思った。そして50周年に事故等などなく、みんなが楽しめる50周年になればいいと思った。これからの未来では、いろいろな人たちの意見を参考にし、みんなが笑えるより良い寿台になればいいと思った。50周年おめでとう。

「寿台50周年おめでとうございます」誕生してからこの50年、住み良い寿台をつくってくださった地域の皆さんに感謝します。これからも変わらず住みやすい寿台であり続けるために、僕も地域の皆さんと協力していきたいと思っています。

私は生まれてからずっと寿台に住んでいます。寿台の好きなところは、きれいな山の景色が見えたり、春になると桜が沢山咲くところです。朝の登校時には見守りをしてくれる方が毎朝「おはよう」と声をかけてくれて、とてもうれしいです。突然の雨で傘がなく困っていたら車を止めて傘を貸してくれた方もいました。本当にありがとうございました。寿台の人は皆さん優しく子供たちが安心して暮らせる地域だと私は思います。なので空き家が増えていと聞いてとても残念に思います。公園も沢山あり図書館やスーパーもあってとても便利なお店があるので、もっともっとたくさんの人に寿台の良いところを知ってもらえる行事があるといいなと思います。昨年の夏祭りには、私も参加させてもらいました。子供たちが楽しめる出店などがいっぱいあってとても楽しかったです。夏祭りのように、子供たちや大人の人々も楽しめる、行事がたくさんできると寿台の良さを知らしてもらえ、地域のために、色々と考えてくれる方々に感謝します。寿台50周年おめでとうございます。

これからもみんなが笑顔で安心して住める寿台

優しく元気に声を掛けてくれる人が多いです！

思いやりでいっぱいの寿台

みんながあいさつを大事にして気持ちよくすごせる町になったら嬉しいです。

寿台50周年おめでとうございます。私は寿台に引越してきてまだ3年しかたっていません。50周年と聞いて素晴らしいと思いました。まだコロナが落ち着きませんが少しずつ緩和されたら色々な、行事もあると思います。私はその行事にぜひ参加したいです。これからもより良い寿台になってほしいと思いますのでがんばってください。

不安な気持ちで引越して来たけど、この町は優しい人がたくさんいるので、この町でいろいろなことをやりたいです。ぼくは寿台が好きです。50周年おめでとうございます。

お年寄りや子供など世代交流が増え、活気あふれる寿台地区になっていったらうれしいです。

「創立50周年おめでとうございます。」私は松本市寿台が大好きです。どうしてかと言うと、私は昔2才くらいの頃に迷子になってしまったことがありました。ですが、近所の方が私を発見してくださり、無事家に帰ることができました。なので、寿台地区の人々も優しいし、何より空気もきれいで本当に素晴らしい地域だと思います。私は、この寿台に生まれて本当に嬉しいです。

寿ダイ君へ

どこからか美味しそうな雄藩と夜の匂いがした。

セブンイレブンまで来ると頭上の電光板に大小の千切り紙がまとわりついていた。

ひと際大きな羽音は、大好物のカブトムシやノコギリクワガタに違いない。

三つ下の弟の手を引き寿台交番前の大通りをぎこちなく渡り、ナカジマ整骨院併設の柔道場の小窓から友達の安否確認を行った。

続いてスーパーヤスザカ軒下のパックマン筐体のボタンを16連射してから、防犯灯から生まれた影を踏まない様に忍者走りをしてしながらモリヤ塾までの暗夜小路を「ニンニン」駆け抜ける。

塾解放後は、ヤッターマンからの、まんが日本昔ばなし、クイズダービーは飛ばして、キング志村の8時だヨ！全員集合のゴールデンタイム！！～(続)

今、世界はグローバリズムから文壇デカップリングへと構図が変わり不穏だけれど、50年後も寿ダイ君がお祝いしてもらえます様に。(祈) 同級生の一人より。

# Messages for the future.

## 50<sup>TH</sup> ANNIVERSARY KOTOBUKIDAI 寿台町会連合会創立50周年記念事業実行委員会

実行委員長(全般)	岸田 浩和	1丁目(オブザーバー)	岡 義正	東町会(イベント)	岩堀 力
副委員長(広報)	三澤 学	2丁目(イベント)	古谷 千恵	東町会(イベント)	伊藤 利久
副委員長(フード)	渡辺 俊明	3丁目(接待・フード)	行実 カツ代	東町会(イベント)	内藤 貴之
会計	大久保 正幸	3丁目(接待・フード)	榎 沢 美智子	8丁目(会場設営)	早川 拓也
事務局(全般)	浅田 淑子	4丁目(フード)	伴 場 憲司	9丁目(会場設営)	竹内 良太郎
事務局(フード)	坂井 敬	4丁目(モニュメント)	百瀬 康弘	9丁目(モニュメント)	二木 博史
事務局(会場設営)	川上 保夫	4丁目(イベント)	太田 祐治	9丁目(広報)	渋谷 恒雄
事務局(モニュメント)	白木 昭彦	5丁目(広報)	五味 行子		

コーディネーター 育成会長 河原 和彦  
顧問 公民館長 坂井 久吉  
顧問 町会連合会 会長 内山 博行